

円鏝勝三のブロンズ 「若葉」

城山森林公園の丘上に建つ弥彦総合文化会館の前にたたずむと、目の前に弥彦山を一望する広大な景観が目に飛び込んできます。やさしさにあふれたその姿は母の懷に抱かれたような気持ちにさせてくれます。この前庭にブロンズ像「若葉」があります。文化勲章を受章した彫刻家円鏝勝三



の作品です。彫刻に関心のある方から「なぜ、ここに、この像が…」と聞かれることがあります。

昭和53年11月、この地域を代表する文化の殿堂として弥彦総合会館がオープンした時にそれにふさわしい芸術作品として設置されました。はつらつとした少女が小鹿のバンビとともに野原を駆けまわる平和な情景が表現されています。二度と戦争の惨禍をくりかえさないように、平和への決意が込められています。広島市の平和記念公園、広島県御調町の円鏝記念館にも同じ作品があるということですが、近くで見られる円鏝作品として、ぜひご覧においでください。弥彦の丘美術館へ行く小道の入口です。